



採用・退職

採用医師・退職医師のご案内

【採用医師】

令和5年10月1日付採用

産婦人科  
副部長  
久保 光太郎  
(くぼ こうたろう)

産婦人科  
副部長  
玉田 祥子  
(たまだ しょうこ)

産婦人科  
専攻医  
清元 志保  
(きよもと しほ)

産婦人科  
専攻医  
田中 佑衣  
(たなか ゆい)

【退職医師】

令和5年7月31日付退職

内科 専攻医 吉田 通

令和5年8月18日付退職

内科 医師 飛田 春那

令和5年9月30日付退職

産婦人科 専攻医 谷岡 桃子

患者さんのご紹介はぜひFAX紹介をご利用ください

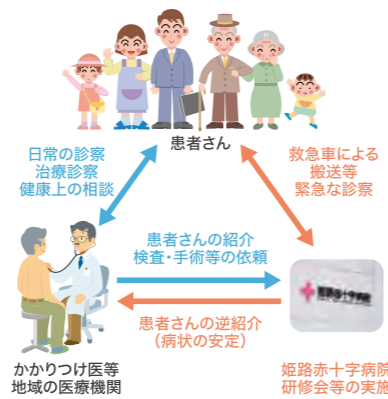
当院では、地域の先生方と緊密な連携と役割分担を図りつつ、より良い医療を提供していくことで、地域医療の充実を目指しています。

紹介状をお持ちでない患者さんが当院を受診された際は、まず、かかりつけ医を受診していただくようお願いしていますので先生方のご支援を賜りますようお願いいたします。

また、紹介状をお持ちでも直接来院された場合、来院された日に受診出来なかったり、待ち時間が長くなったりとご迷惑をおかけすることがありますので、是非FAX紹介をご利用くださいますようお願い申し上げます。

【患者さんにとってのメリットは?】

- 症状に応じた専門医の診察を受けることができます
- 受診日時が決定するので、スケジュール調整ができます
- 初診申込書の記載が必要ないので手続きがスムーズにできます
- 初診時選定療養費 医科7,700円(税込)、歯科5,500円(税込)が徴取されません
- 外来での待ち時間が最小限となります



FAX紹介受付時間 平日 8時30分～19時まで 土曜日 8時30分～12時まで

診 察 日 原則 1週間以内 \*但し、検査・診療科・診療内容により及び希望日が集中する場合がございますのでご了承ください。

問い合わせ先 地域医療連携課  
TEL:079(299)5514(直通) FAX:079(299)5519(直通)

がん相談支援センター

当院では、がんでお悩みの患者さんやご家族の方が安心してご相談いただける窓口として「がん相談支援センター」を設置しております。当院の患者さんやご家族はもちろん、地域の方、当院かかりつけでない方もご利用いただけます。

相談予約 あらかじめ電話でのご予約をお願いいたします  
受付時間 平日 8:30～17:00  
病院代表: 079-294-2251  
直 通: 079-299-0037  
相談時間 1回60分程度

また、当院2Fエントランスホールの相談支援センターブースでも相談・予約を承っております。

姫路赤十字病院だより

Vol.42

発行日 令和5年10月

発行責任者 姫路赤十字病院 院長 長岡田 裕之  
編集責任者 院 広報委員長 石川 慎一

〒670-8540 姫路市下手野1-12-1  
電話 079(294)2251代  
URL: <https://himeji.jrc.or.jp/>

姫路赤十字病院だより

Japanese Red Cross Society Himeji Hospital NEWSLETTER

Vol. 42

October  
2023.10

contents

- 第48回姫路市医師会秋季大学 in 姫路赤十字病院 造血幹細胞移植ベーシックセミナー① 開催報告
- SIEMENS社製 MAGNETOM Vida3T 導入
- 診療科の紹介 整形外科
- 診療科の紹介 循環器内科
- Cooperation Message 地域医療連携室
- 当院ホームページリニューアルのお知らせ
- 臨床指標
- 看護部研修予定一覧
- 採用・退職
- FAX 紹介について
- がん相談支援センター





新しい治療と地域の先生方との連携について報告

### 第48回姫路市医師会秋季大学 in姫路赤十字病院

令和5年10月7日(土)姫路赤十字病院で姫路市医師会主催の秋季大学を開催しました。

当院では5年ぶりの開催となり、大勢の先生方にご参加いただき、大変嬉しく思っております。誠にありがとうございました。

当院のテーマ「高度急性期・急性期医療充実を目指した診療部門センター化」として、開会前に内視鏡センターと手術室の見学、そして開会後は当院から17演題の講演をさせて頂きました。

内視鏡センターの施設見学では、ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)とERCP(内視鏡的逆行性胆道膵管造影)についてご案内し、手術室では、当院で2台導入している手術支援ロボット「ダ・ヴィンチXi」、令和4年10月に導入した低侵襲脊椎手術「O-armイメージングシステ

ム」、そして大動脈瘤手術やステントグラフト等で使用するハイブリッド手術室をご案内させて頂きました。

大会の開会式では、姫路市医師会副会長の國部伸也先生からご挨拶を頂き、当院の岡田裕之病院長からテーマの説明、そして当院の医師17名から講演させて頂きました。

長時間となりましたが、当院の新しい治療と、今後も地域の先生方との連携がますます重要になることがご報告できたかと思っております。これからも地域の先生方と連携して地域住民の方に医療をお届けしたいと考えております。

最後になりますが、このような貴重な機会を設けて頂き、姫路市医師会の先生方、スタッフの方々に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

副院長 中村 進一郎



岡田病院長 挨拶



施設見学の様子



#### <講演内容>

消化管がんの内視鏡治療について	消化内科部長	堀 伸一郎
膵胆内視鏡治療について	肝胆膵内科副部長	高田 斎文
当院における神経内分泌腫瘍に対するペプチド受容体核医学内用療法(PRRT)の経験	内視鏡センター長	高谷 昌宏
ダヴィンチ手術の現状	低侵襲センター長	甲斐 恭平
当院における高精度放射線治療	放射線治療科部長	武本 充広
頭頸部がんに対する新たな治療法 -頭頸部アルミノックス治療(光免疫療法)について-	耳鼻咽喉科部長	橘 智靖
快適に不整脈アブレーション治療をうけていただくために	不整脈診療部長	寺西 仁
当院における低侵襲脊椎手術O-Armナビゲーション導入を中心に	整形外科副部長	濱本 秀一
麻酔科で行う痛みの低侵襲治療	麻酔科部長	石川 慎一
当院における小児・新生児医療の現状	小児科部長	久呉 真章
	小児センター長	神吉 直宙
当院における無痛分娩の現状について	周産期母子医療副センター長	中山 朋子
患者さんに寄り添う化学療法センター	化学療法センター長	平松 靖史
今こそ求められる医科歯科連携	歯科口腔外科部長	藤原 成祥
がんゲノム医療	遺伝診療部長	甲斐 恭平
遺伝性腫瘍と遺伝カウンセリング	認定遺伝カウンセラー	藤田 裕子
看護師の特定行為について	看護部長	駒田 香苗



造血幹細胞移植後について学ぶ

### 造血幹細胞移植ベーシックセミナー① 開催報告

令和5年9月7日(木)造血幹細胞移植ベーシックセミナー①「地域で支える造血幹細胞移植」を開催しました。

造血幹細胞移植後に地域で過ごしている患者さんに起こりうる晩期合併症について、久保西四郎医師から、慢性GVHDの臨床像や臓器別のスコア、移植後の時期別に感染の危険因子と好発する感染症などをお話ししました。

浅野豪医師からは、移植後のワクチン接種について、造血幹細胞移植後の免疫再構築には年単位が必要な事、だからこそ、適切な時期にワクチンを接種する必要があるということをお話ししました。Covid-19 ワクチン、带状疱疹ワクチン、肺炎球菌ワクチンなど具体的なワクチンの接種時期、注意点など、最新

の知見も踏まえた内容でした。

参加者からは「改めて慢性GVHDについて学習することができた。」「免疫再構築という言葉は初めて聞いたがすごくわかりやすかった。」という声がありました。

次回は12月16日(土)造血幹細胞移植ベーシックセミナー②「チームで造血幹細胞移植」と題して多職種での関わりについてお伝えする予定です。

たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

がん診療連携課 井上 豊子



久保西四郎医師「早期発見！移植後の晩期合併症」



浅野豪医師「造血幹細胞移植後のワクチン接種」

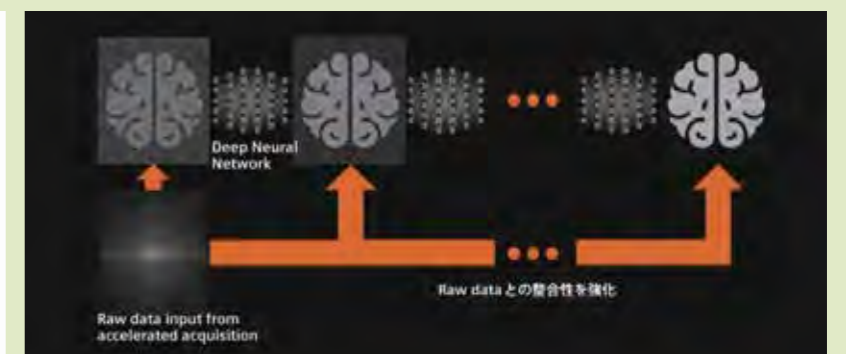


短時間で高画質な MRI 検査が可能に

### SIEMENS社製 MAGNETOM Vida3T導入

第1MRI装置の更新工事が終了し、9月末より正式稼働いたしました。今回導入したSIEMENS社製MAGNETOM Vida3TはAIを使用した次世代画像再構成技術を採用し、短時間で高画質なMRI検査が可能になります。また腹部や骨盤の検査では従来品より軽量になった専用コイルを使用して患者さんへの負担を軽減し、さらに心電センサーや呼吸センサーがコイルに内蔵されたことによってデバイスを直接体に貼りつけることなく検査が行えるようになります。他の2台の3T-MRI装置(Philips社製

IngeniaElitionX3T、Ingenia3T)と合わせてそれぞれの特徴を活かした検査がさらに広がりました。





01

## 整形外科

### スタッフ紹介

阪上 彰彦 第一整形外科部長  
(平成3年卒/股関節・膝関節)

松岡 孝志 第二整形外科部長  
(平成3年卒/脊椎疾患全般)

川島 邦彦 関節外科部長  
(平成13年卒/膝関節)

田中 正道 リハビリテーション科部長  
(昭和61年卒/脊髄疾患の手術治療・リハビリテーション)

池上 大督 第一整形外科副部長  
(平成14年卒/脊椎外科・整形外科)

村田 洋一 第一整形外科副部長  
(平成16年卒/脊椎・脊髄疾患の治療・整形外科一般)

濱本 秀一 第一整形外科副部長  
(平成22年卒/脊椎・脊髄疾患の治療・整形外科一般)

山川 大輔 医師  
(平成28年卒/整形外科一般・脊椎外科・リハビリテーション)

鄒 明憲 専攻医  
(平成29年卒/整形外科一般・リハビリテーション)

澤田 遥奈 専攻医  
(平成30年卒/整形外科一般)

三浦 琢幹 専攻医  
(令和3年卒/整形外科一般・リハビリテーション)



### 当科の診療方針

高齢者の増加、がん患者の増加に伴い、整形外科に求められることがますます多種多様化しています。

地域がん診療連携拠点病院として当院の整形外科が求められる診療は特殊で多岐にわたります。近年がん治療が進歩し、生命予後が改善するとともに転移性骨腫瘍に罹患される患者が急増しています。特に主科のがん治療方針に大きく関与するPerformance status(PS)が著しく低下する転移性骨腫瘍(脊椎転移、骨盤、大腿骨転移など)の診療が非常に重要だと考えています。今後も整形外科一丸となり転移性骨腫瘍に取り組んでいく所存です。

また、80歳以上のかたでも脊椎変性疾患(腰部脊柱管狭窄症など)や、関節変性疾患(変形性股関節症、変形性膝関節症など)が原因で生活の質が著しく低下してきた場合は、少しでも生活の質が上がるよう積極的に手術加療をおこなっていきたくと考えています。

### 他医療機関へのメッセージ

従来通り脊椎変性疾患、関節変性疾患(股関節、膝関節)については積極的に手術加療をおこないます。また今後は脊椎や股関節、膝関節、足関節などの外傷についても可能な限り対応していきたくと考えております。

転移性骨腫瘍についてはできるだけPSを落とさないよう放射線治療や手術治療、骨修飾薬を組み合わせた治療をおこなってまいります。

また、2022年にO-armイメージングシステムが導入されましたので、低侵襲脊椎手術も積極的におこなっていきたくと考えております。

腫瘍専門医、リウマチ専門医が不在であるため原発性骨腫瘍や原発性軟部腫瘍、リウマチ性疾患につきましては専門医療機関をご紹介させていただくことになります。ご理解の上ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

整形外科部長 阪上 彰彦



### 当科での手術例

68歳 男性 転移性脊椎腫瘍(Th5,6) 腎癌



術前

術後

75歳 男性 転移性大腿骨腫瘍 腎癌



術前

術後

56歳 女性 右変形性股関節症



術前

術後

72歳 女性 変形性膝関節症



術前

術後

74歳 女性 PLIF後隣接椎間障害



術前

術後



## 循環器内科

### スタッフ紹介

藤尾 栄起 第一循環器内科部長  
(平成7年卒/循環器内科一般)

幡中 邦彦 第二循環器内科部長  
(平成14年卒/循環器内科一般)

寺西 仁 不整脈診療部長  
(平成14年卒/不整脈、循環器内科一般)

飛田 諭志 循環器内科医長  
(平成24年卒/循環器内科一般)

松本 晶子 医師  
(平成25年卒/循環器内科一般)

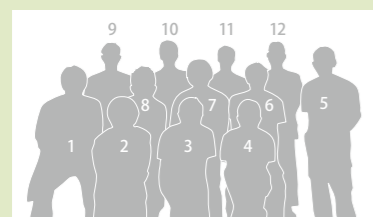
高原 津 医師  
(平成30年卒/循環器内科一般)

武智 龍之介 医師  
(平成30年卒/循環器内科一般)

西村 侑太 専攻医  
(平成31年卒)

山田 智史 専攻医  
(平成31年卒)

磯金 優樹 専攻医  
(令和3年卒)



1. 西村	5. 藤尾	9. 高原
2. 磯金	6. 代谷	10. 武智
3. 山口	7. 山田	11. 飛田
4. 松本	8. 寺西	12. 幡中



### 当科の治療方針

総合病院における循環器内科として、通常の循環器疾患の診療に加えて、非心臓手術における手術前後の循環器的なマネジメントや、周産期や癌治療に合併した心不全や血栓症などの合併症にも積極的に介入しています。なかでも心不全の患者さんは近年急増しています。我々循環器内科はこれら心不全の治療にも積極的に取り組むべく、24時間体制で救急診療をおこなっています(ホットライン: 079-298-8531)。

### 地域の医療機関の先生方へ

いつも患者さんをご紹介いただきまして、誠にありがとうございます。心不全診療においては器質的心疾患のない、高血圧や糖尿病、動脈硬化性疾患などのリスクステージの段階から介入していくことが非常に重要とされています。プライマリケアを担っていただいている先生方には是非とも早期からの治療介入を宜しくお願いします。また心不全を一人の患者さんの時間軸としてとらえた場合、一施設で心不全診療を完結することは不可能です。クリニックの先生方、我々を含めた有床病院の先生方や訪問診療に携わっていただいている先生方と密接にかつシームレスに病診連携を行うことで、この地域の心不全診療をより充実させたものにできればと考えています。

今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。

### 心不全と虚血性心疾患について

心不全治療を行う上で、心不全の原因となる疾患を精査することが重要です。特に虚血性心疾患が関与し血行再建されていない場合の予後は悪く、至適薬物療法のみでは心不全がコントロールできないケースも多々みられます。当院では症例ごとに、心臓血管外科医やリハビリテーション指導士、心不全療法指導士といったコメディカルスタッフを含めたハートチームで治療方針を決定しています。まず冠動脈のスクリーニングとして冠動脈CTや冠動脈造影を行うこととなりますが、診断した病変に対して本当に血行再建を行う必要があるのか否か、そこが重要です。その病変は心筋虚血が誘発されるのか、その虚血領域は心臓全体のどの程度の割合にあたるのか、など機能面を考慮した上で必要な病変に対してのみ血行再建を行うことが望まれます。定量的に心筋虚血評価を行うためには、心臓核医学検査や冠血流予備量比 (FFR) 検査等を行う必要があります。当科では開設当初より、心臓核医学検査等を用いて不要な血行再建を回避するように努めてきました。またFFRについては保険上測定可能となつてからは、積極的に日常臨床に取り入れています。自覚症状と病態とが合致しない場合には、冠動脈CTと心臓核医学検査を組み合わせたフュージョン画像(図1)を作成するなどして無駄な血行再建を行わないよう工夫しています。最近では、心外膜の冠動脈には狭窄を認めないものの冠微小循環障害(CMD)を有する患者さんがいらっしゃる事が報告されています。通常の冠動脈評価では診断できない、こうした非閉塞性冠動脈性疾患(INOCA)の患者さんに対しての診断ツールも開発さ



れ欧米のガイドラインではClass IIaで推奨されています(図2)。INOCAの治療法については確立されておらず、心不全との関連についても未だ不明な点がありますが、今後当科でもこうした病態に積極的に関わられるよう努めていきたいと考えています。

第一循環器内科部長 藤尾 栄起

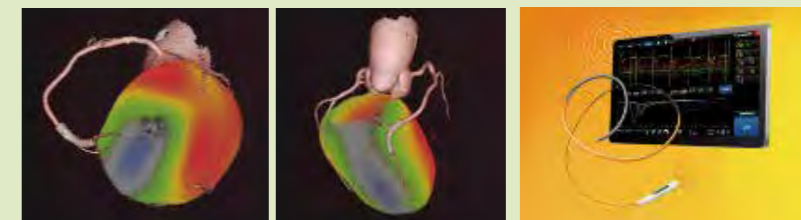


図1: 冠動脈CTと心臓核医学検査によるフュージョン画像  
自験例より引用

図2: COROFLOW  
CARDIOVASCULAR SYSTEM  
Abbott社HPより引用

### 心不全療養支援チームの活動について

心不全は様々な心疾患がたどる終末像ですが、近年、生活習慣の欧米化や高齢化社会を背景に心不全患者が急増しており、こうした状況を、感染症患者の爆発的な広がりになぞらえて“心不全パンデミック”と呼んでいます。2018年に発表された日本循環器学会のガイドラインで、心不全とは“心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気”と定義されているように、心不全は根治が困難な疾患です。特に高齢心不全患者は、加齢による影響、多くの併存疾患、生活の問題など多岐にわたる障壁を抱えていることが多く、そのことが長期入院や高い再入院率につながり、医療経済的にも大きな負担となることが問題視されています。そこで、当科では2021年7月から、心不全患者のサポートを目的に“心不全療養支援チーム”を立ち上げました(図3)。患者さんや御家族が心不全という病を持ちながらも、よりよい日常生活が送れるように、医師、慢性疾患看護専門看護師、心不全療養指導士、薬剤師、医療ソーシャルワーカーなど多職種がチームとなって、心不全治療で重要な薬物療法・食事療法・運動療法のみならず、日常生活での体調管理、さらには社会的な支援も含め、心不全再入院をできるだけ回避できるよう、個々の患者の背景を考慮した個別性のあるサポートを目指して下記のような活動を展開しています。

- 個々の患者にあった個別性の高い療養支援を行うため、心不全療養支援カンファレンスを定期的に行い、チームで治療内容ならびに療養環境整備の方針を相談しています。
- 当科作成の心不全パンフレットを、入院時だけでなく外来診療や在宅療養の場とも共有することで、一貫した療養指導を行っています。
- 心不全再入院抑制のために退院後も生活指導を継続することが重要ですので、外来看護師との連携を強化し、継続看護を徹底しています。
- 心不全関連学会や研究会での情報発信を積極的に行っています。

そして、心不全患者を地域の最前線で診療されている先生方との連携、情報共有が何よりも大切と考えています。今後も当科との病診連携をよろしくお願いたします。

第二循環器内科部長 幡中 邦彦



図3: 当院における心不全療養支援チームによるカンファレンス風景

### 心不全と心房細動、心房心筋症について

心房細動は成人において最も一般的な不整脈であり、心不全、脳卒中などの好ましくない結果をもたらします。心不全と心房細動は相互的な関係にあり、心不全が悪化するほど心房細動になる確率は高くなります。したがって、心不全と心房細動の病態を明らかにすることは、心房細動における心不全のリスクを層別化するために重要となります。

最近の研究では、心房および心室の線維化が、心房細動と心不全に重要な関連であることが示唆されています。さらに左房の大きさや左房と左室の機能評価は、従来の危険因子に加えて、心房細動における心不全の予測に有用であることが報告されています。

心房の肥大や線維化が進展した『心房心筋症』は、心房細動や、原因不明の左心系塞栓性の原因であることが報告されています。心房心筋症は構造的な異常(心房拡大)だけでなく、構造的な異常を伴わない(心房拡大を伴わない)場合もあり、カテーテルアブレーション中の電氣的マッピングは、心房心筋症を同定し定量化できる可能性があります(図4)。

ファンタスティック4など心不全治療薬の進化は、心不全入院を減らし生命予後を改善することが期待できますが、心房細動は持続性心房細動に移行する前に早期に介入することが望まれます。心房細動へのカテーテルアブレーションを行うだけでなく、その原因となりうる心筋症の可能性を常に考慮し、包括的網羅的に診断および治療をおこなうことが重要です。

不整脈診療部長 寺西 仁

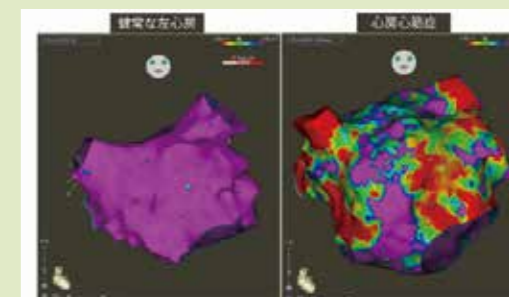


図4: 自験例より引用



# Cooperation Message

地域医療連携室

## 第54回地域連携カンファレンス報告

令和5年8月24日に地域連携カンファレンス『新たな低侵襲治療』を開催いたしました。

第一部は第一整形外科副部長 濱本 秀一による「最新型移動式CT(O-arm) イメージングシステムを導入した低侵襲脊椎手術」について、2022年10月に導入しましたO-armイメージングシステムを使用した整形外科手術について動画を使用して説明いたしました。脊椎(特に頸椎)にスクリューを入れるのは難しく、最新機器のO-armを使用することで、術者は理想的なスクリュー刺入経路を選択することができます。また、術中の体位でCTを撮るので誤差が少なく、位置合わせのために骨の表面を大きく展開する必要がないことで筋肉の犠牲は最小限にとどめることが可能となり、患者さんにとって術後の疼痛が少なく離床も早いという低侵襲手術について講演させていただきました。

第二部は耳鼻咽喉科部長 橘 智靖による「頭頸部がんに対する新たな治療法ー頭頸部アルミノックス治療(光免疫療法)についてー」と題して、当院の取り組みについてお話しさせていただきました。当院は頭頸部がん指定研修施設(県内に7施設)、日本内分泌外科学会認定施設(県内に4施設のみ)の両方を備えています。また、2つの指定を受けている医療機関は県内では当院のみとなります。耳鼻咽喉科では当院の最も得意とするチーム医療を展開し、頭頸部進行癌手術では麻酔科、外科、形

成外科と連携し、早期であれば消化器内科の専門医が内視鏡で加わり、副甲状腺手術の導入では内分泌内科専門医の診断のもと手術を実施します。各々の専門医の力を集結し治療に臨んでいます。そして、頭頸部がん治療では、「免疫チェックポイント阻害剤」の次の治療になる2020年に承認された「頭頸部アルミノックス治療(光免疫療法)」を早期に取り入れ、地域住民に最新の治療を提供する体制を整えました。

第54回地域連携カンファレンスには、連携医療機関、職員約110名の参加があり、盛会に開催することができました。

年間4回開催する地域連携カンファレンスにご参加いただければ、当院についてご理解いただけると自負しております。これからも情報を発信してまいりますので、多くの連携機関の皆様にご参加いただき、皆様と一緒に安心して暮らせる地域を作りたいと考えています。引き続き、ご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

第55回地域連携カンファレンスは12月7日(木)に予定しており、テーマは「救急搬送」について、企画中でございます。たくさんのご参加をお待ちしております。

地域医療連携室



院長挨拶



耳鼻咽喉科部長 橘 智靖



第一整形外科副部長 濱本 秀一



より快適にご利用いただけるように

## 当院ホームページリニューアルのお知らせ



患者さん向けサイト



医療機関向けサイト

このたび、10月に当院ホームページを全面リニューアルしました。

今回のリニューアルでは、ご利用される皆様にとってより見やすく、情報が探しやすいように構成やデザインを刷新し、パソコンやスマートフォン等のデバイスに問わず、お使いの端末に合わせてご覧いただけます。また特設サイトとして「採用総合サイト、医療関係者向けサイト、研修医サイト、看護部サイト」を新設しております。

これからも多くの皆様に快適にご利用いただけるように改善を図り、今後も内容の充実化を進め、最新の情報を掲載するホームページにするよう努めてまいります。

病院ホームページ  
サイトはこちら



## 姫路赤十字病院 臨床指標

臨床指標は、医療の質を具体的な数値として示したものです。

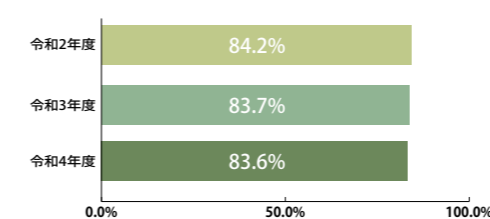
当院の臨床指標は主に、プロセス指標(実際に行われた診療や看護の内容)とアウトカム指標(実施した診療や看護の結果)からなり、これらの経年的変化を評価・分析することで、医療の質の向上に役立てています。

この度、令和4年度の臨床指標を取りまとめましたので、一部を公表させていただきます。

なお、ホームページ上では、その他の指標につきましても公表しておりますので、併せてご覧ください。

姫路赤十字病院 事務部 経営管理課

### ●病床稼働率

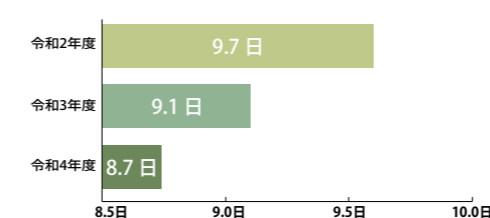


分子	延入院患者数
分母	病床数×365日

### 指標の説明

病床稼働率とは、実働病床数に対して、入院患者がどのくらいの割合で入院していたかを示す指標です。入院を必要とする患者さんのために病床を効率的に利用することが求められています。

### ●平均在院日数



分子	年間在院患者延数
分母	(年間新入院患者数+年間退院患者数)/2

### 指標の説明

患者さんが平均で何日間入院しているかを示す指標です。在院日数を短縮するには、適切な治療だけでなく、退院に向けて地域の病院・診療所・施設などとの連携強化が必要になります。



研修開催情報

## 令和5年度 姫路赤十字病院 看護部研修開催予定一覧

※日程は変更する可能性がありますので担当者までお問合せください  
 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響から研修会を中止する場合があります  
 ※参加の際はマスク着用・体調管理シートの記載をお願いしています  
 ※e-ラーニング導入により、記載している研修が一部受講できない可能性があります

## ▶レベルI研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
11/8 13:30~14:30	医療安全②	医療安全について事例検討	看護係長	レベルI
12/14 15 13:30~14:30	こんな時どうする?	多重課題・時間切迫の状況の事例検討	看護係長	レベルI
1/10 13:30~14:30	グローバルヘルスI	姫路市の保健・医療・看護・福祉の動向 来院する外国人などの特性と健康問題	看護係長	レベルI
2/22 13:30~14:30	看護倫理I	看護師にとっての看護倫理	看護係長	レベルI
3/7 13:30~14:30	心に残った看護場面	心に残った看護場面をナラティブに語る	看護係長	レベルI

## ▶レベルII研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
10/4 13:30~14:30	キャリア開発支援II	キャリア開発の考え方 自己の看護観及びキャリアプランの再確認	看護副部長	レベルII
11/15 13:30~14:30	看護と受容的態度	聴くスキル 受容的態度 コミュニケーションスキル	緩和ケア認定看護師	レベルII
1/19 13:30~14:30	後輩を支援しよう	後輩育成 リフレクション	教育担当師長	レベルII
2/7 13:30~14:30	グローバルヘルスII	国内外の保健、医療、看護、福祉の動向	看護係長	レベルII

## ▶レベルIII研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
12/7 13:30~14:30	実地指導者研修	新人看護職員の理解 実地指導者の役割	教育担当師長	レベルIII
12/14 15 13:30~14:30	新人看護師を支援しよう	多重課題・時間切迫状況の事例検討の リフレクションを支援する	看護係長	レベルIII
1/25 13:30~14:30	キャリア開発支援III	キャリアアンカーの定義、タイプ キャリア発達・キャリア心理学 戦力的にキャリアを考える	看護副部長	レベルIII
3/15 13:30~14:30	グローバルヘルスIII	国外の歴史、宗教、政治、社会、言語、慣習、 ジェンダーについて グローバル化に伴う地域の健康問題について	看護係長	レベルIII

## ▶看護補助者研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
12/8 13:30~14:30	新採用者対象研修	看護補助者としての業務内容 看護補助者として必要な知識	看護係長	看護補助者
2/16 13:30~14:30	守秘義務・個人情報と倫理	看護補助者として基本的姿勢と態度 医療チームの一員として倫理	看護副部長	看護補助者



## ▶専門・認定看護師研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
9~11月	敗血症性ショックとその看護	1) ショックの病態と分類 2) ショック時に使用する薬剤 3) 敗血症性ショックとは 4) 敗血症性ショックに対する治療戦略 5) 敗血症性ショックではないかと判断する 6) 敗血症性ショックに対する看護実践 初期対応から治癒に向けた看護実践まで	集中ケア認定看護師	キャリア開発ラダー レベル1取得以上
6~3月	がん看護研修 Step3	1) 6月:がん医療における看護師の役割 2) 7月:がん患者の自殺 3) 8月:がん薬物療法に使用する薬剤 4) 9月:がん薬物療法の副作用の 症状マネジメント 5) 10月:オンコロジーエマージェンシー 6) 11月:がん医療における家族看護 7) 12月:がん患者とのコミュニケーション NURSE演習 8) 1月:がんゲノム医療と遺伝性腫瘍 9) 2月:医療者のストレスマネジメント 10) 3月:事例検討	がん看護専門看護師	医療に従事し、がん患者の 対応を実践している方
			緩和ケア認定看護師	
11月~1月	アセスメント力を身につける	症状から状態をアセスメント 臨床と照らし合わせた内容 「もしものとき」の対応を考える	集中ケア認定看護師	キャリア開発ラダー レベルII~IIIを目指すもの
12月	自分の技を磨こう! ~看取り、エンゼル ケア~	1) 時間経過に伴う、ご遺体の変化と根拠に 基づいたケア方法 2) 死亡後の家族心理と、悲しみに寄り添える 対応方法	緩和ケア認定看護師	医療に従事し、がん患者の 対応を実践している方
7月~1月 7/14 9/8 11/10 1/12	中播磨がん看護研修 (場所:姫路医療セン ター 第一会議室)	困難事例を通してがん看護を考え実践能力を 高める 地域の医療機関の看護師との議論を通じて それぞれの役割を知る 地域の医療従事者とのネットワークづくりの機 会とする	がん看護専門看護師	中播磨地域の医療機関に属 する看護師
			緩和ケア認定看護師	
11月頃	認知症ケア研修	認知症、せん妄へのケア全般	認知症看護認定看護師	認知症患者に関わる看護師
10月頃	NCPRフォローアッ プ研修	事例を用いたNCPRの実践トレーニング 日頃の蘇生での疑問点を解決する	新生児集中ケア認定 看護師	NCPRを取得済みの小児・ 周産期に関わる看護師・助 産師

研修に参加希望の方は、QRコードかURLより参加申込フォーム  
に必要事項を入力しお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/VtteS3H5VP>

研修予定日の2週間前までにお申し込みください。

(直前のお申し込みは、電話でご確認ください)



〒670-8540 姫路市下手野1-12-1 姫路赤十字病院 看護部

TEL: 079-294-2251 (内線: 3001, 3417)

※お問い合わせは月~金の8:30~17:00までお願いします。

